



## 湖岸の水生生物観察

### 学習のねらい

- びわ湖岸で水生生物を観察することで、びわ湖の生き物について興味・関心をもつことができる。
- びわ湖にすむ水生生物を調べることで、生き物の多様性に気づくことができる。
- びわ湖岸を観察することで、湖岸の様子や植生を知り、生き物にとってすみやすい湖岸の在り方について考えることができる。
- びわ湖周辺の生き物と水とのかかわりについて考えることができる。

### 準備物

うみのこ船内で準備できるもの	乗船校で準備するもの
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ザル</li> <li>・バット</li> <li>・生き物ワークショップ一式</li> <li>・ルーペ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱メガネ、水中スコープ</li> <li>・<u>ワークショップ活用シート</u></li> <li>・<u>湖岸の水生生物観察ワークシート</u></li> <li>・濡れてもよい服装</li> <li>・図解ハンドブック（滋賀の水生生物）</li> </ul>

主な学習の流れ	ポイント（○）及び留意点（☆）
はじ	1. 本学習のめあてを確認する。 ○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識して示す。
なか	2. 水辺でザルを使い、水生生物を採取する。 ☆水辺活動のため、安全管理に十分留意する。 3. 採れた水生生物をバットに入れ、ルーペを使って観察する。 ○水生生物を採取するとともに、水生生物のいる環境、湖底や水草、ヨシ帯や湖岸の様子などにも目を向けるように働きかける。 4. 観察した水生生物の種類や水辺環境についてワークシートに記録し、意見を交流する。 ○生き物ワークショップを活用し、生き物に適した湖岸環境について考えを深めることもできる。
おわり	5. 本学習のまとめをする。 ○フローティングスクールのテーマとのつながりを意識してまとめができるようにする。 ○学習のまとめ②や乗船後の学習につながるようにする。

（※1）活動場所・・・ 琵琶湖大橋港・今津港・長浜港（豊公園）・彦根港

（※2）実施時期・・・ 6月～10月

※うみのこ船内で準備できるものについては、児童・指導者の人数や班の数に合わせて準備することもできます。